

令和 8 年度
長井市遊びと学びの交流施設運営協議会
議事録

令和 8 年 6 月 2 6 日

長井市遊びと学びの交流施設運営協議会 出席者名簿

■委 員

No	氏 名	所 属 等	出 欠
1	加藤 俊昭	長井市まちづくり青少年育成市民会議副会長	欠
2	鈴木 奈美	長井市教育委員	出
3	(新) 佐藤 健	長井市校長会代表（長井市立豊田小学校長） ※当日は代理として竹田洋 長井小学校長	出
4	金田 舞美	くるんと愛称決定者	出
5	竹田 信一	長井市地区長連合会会長	出
6	(新) 遠藤 真弓	保育研究会会長（白山こども園 園長）	出
7	(新) 柴田 翔平	長井市父母の会連絡協議会会長	出
8	(新) 横山 幸明	長井市PTA連合会会長（南中）	出
9	(新) 平井 由美	長井市PTA連合会母親委員長（南中）	出
1 0	石黒 志保	山形大学人文社会科学部講師	出
1 1	高橋 久子	公募委員	出
1 2	加藤 由美	公募委員	出

（順不同、敬称略）

■事務局

1	鈴木 満成	地域づくり推進課長
2	新野 武憲	地域づくり推進課 補佐（兼）生涯学習推進室長
3	武田 誠広	地域づくり推進課 生涯学習推進室係長
4	菅 慶美	地域づくり推進課 生涯学習推進室主任
5	鈴木 真菜	地域づくり推進課 生涯学習推進室主事
6	滝口 友和	長井市遊びと学びの交流施設くるんと施設長
7	丸川 和久	長井市立図書館長

1. 開会

2. 委嘱書交付

(新たに委員になった5名へ机上にて委嘱状交付)

(次第にはないが、委員・事務局紹介)

3. 課長あいさつ

4. 委員長あいさつ

本日、加藤委員長がお休みということで、代わりにこの席に座らせていただいた。

第1回目の協議会、今年度から仕事の異動や役職の交代などで、委員の方々に新たに5名加入した。任期の期間よろしくお願ひしたい。

普段くるんとを利用していると、多くの方が利用していることが実感でき、大人にとっても憩いの場となっていると感じる。皆から愛され、憩いの場となり、そして学びの場となるように皆さんの感想、ご意見を承りたい。

(次第にはないが、委員・事務局紹介)

5. 協議

(1) 長井市遊びと学びの交流施設「くるんと」について

事務局から本運営協議会及び「くるんと」の概要について、R7 来館者数などを交えながら説明があった。

(2) 令和8年度「くるんと」事業計画について

指定管理者から令和7年事業報告を最初行い、令和8年度事業計画及び年間スケジュール、また図書館からは第61回読書感想文コンクールについて説明が行われた。

質疑応答

委員：今回事前に資料を送付されたことに感謝する。令和7年度についても指定管理者が多くのイベント運営など頑張っている印象を受ける。

探究学習事業について大変面白い取り組みだと思った。子供たちに疑問を探させて、その疑問を解決していく流れは現代に合っている。内容と視点はすごくよかったが、参加者の少なさが残念だった。内容が漠然として難しかったのではないかと感じた。

8月のイベントについて、来た講師の方々が著名な方たちが多かったが、どうやってお声がけしたか、今年度何か構想があるのかお聞きしたい。

(資料：令和7年度長井市遊びと学びの交流施設くるんと事業紹介 P7-13、P41-46 関連質問)

事務局：8月に行われたイベントについては昨年度地域資源活用コンテンツ開発作成業務事業として指定管理業務の予算とは別予算事業で実施していた。本年度は予算の関係から継続は考えていない。

探究教室について考えは良いが、課題の設定などで出来る子、出来ない子が分かれ、最終的には継続者が少なくなってしまった。やりたい、やりたくないといった子供の気持ちも考えると無理強いできない部分もあった。

事業試行したことで課題は見たので、今後の新規事業などに引き続き生かしていきたい。

委員：読書感想文コンクールについて前回よりいろんな方が参加しやすくなったと思う。気になる点として“誰でも参加OK”という点について広すぎるのではないかな。

次にインクルーシブデイについて、スタッフの方たちの障がい者へ対する研修などあればどんなことをしているかお聞きしたい。

（資料：第61回長井市読書感想文コンクール募集要項及び令和8年度事業計画P30-31 くるんとインクルーシブデイ関連質問）

事務局：くるんとでは障がい者へ対する研修は特に行っていないが、今後インクルーシブデイを行う中で、障がいをお持ちの方に接する機会が増えるので、スタッフも企画を通して積極的に“学ぶ”体制で関わっていきたいと思っている。

読書感想文コンクールについては長井市立図書館を利用されている方という文言も応募資格の中にあるのでその範囲内を想定している。

委員：インクルーシブデイについてスタッフの方の理解があると、障がいをお持ちの方が来館しやすくなるので、研修実施などで学んでもらえるといい。

次に、エントランスの壁へプロジェクターの投影などについてもっと出来ればいいと思う。エントランススペースにもっと机などを置いて高齢者の方も将棋などで使えるスペースを置く考えはないか。

事務局：施設の壁が湾曲しているので投影などにはあまり向かない。ポスターなども景観の関係で貼っていない。掲示をしたい場合はポスターではなくデジタルサイネージで補完している。また、将棋などに関しては奥の多目的室の使用がなければ開放しているため、自主的に利用されている。

委員：来館者が多い印象だが、目標値はあるか。

事務局：現在年間20万人で設定しているが、それ以上の方に来館していただいている。

委員：令和7年度貸出冊数が伸びているのが絵本と大活字本利用で、あそびばに来た親子が絵本を図書館でついでに借りていく様子や高齢者の大活字需要の多さを感じた。

逆に、一般の方利用については伸び悩みがあるように感じる。図書館で大事なのは選書。選書には司書の研修時間や情報共有が必要となるため確保してほしい。また、今年度も郷土資料の収集継続と館長からあったが、長井市の郷土資料の収集基準があるか教えてもらいたい。（資料：図書館要覧 P18 関連質問）

事務局：収集基準については後日回答する。なお、図書館職員全員集まっての打合せについては休館日を利用して行っている。

委員：多くのイベントを開催していることが今回の資料を見て改めてわかったので、職員のライフワークバランスや健康管理について気を付けて運営を引き続き行っていただきたい。

6. その他

7. 閉会